



野鳥さが

発行者：宮原明幸 編集者：馬場順一 イラスト：中村さやか

日本野鳥の会佐賀県支部

お詫び

今回の支部報は編集者（馬場順一さん）のパソコンの不具合により急遽副支部長の青柳良子が発行することになりました。

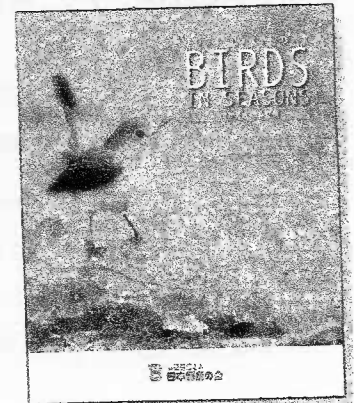
従って「観察会の報告」と「ドローンによる除草剤散布の問題」と「ブッポウソウの里づくり」の経過報告「今後の観察会予定」のみの内容になります。

ネット配信も出来ませんので悪しからずご了承のほどお願い致します。



ちょっとおもしろい表情や仕草の野鳥たちを集め、月めくりのカレンダーにしました。かわいい野鳥たちの姿に思わず顔がほころびます。

バード・イン・シーズンズ2021
卓上カレンダー「12か月を彩る野鳥」



おわったら
ポストカードに!

↑ ¥1,100 ↓

「カレンダー」のご注文は11月20日までに物資担当：蒲原留美さんへ
(090-5294-3103)

- 役員会報告.....2ページ
- 各地の観察会報告.....3ページ
- 「ドローンによる除草剤散布」中止の経過と御礼.....5ページ
- 「ブッポウソウの里づくり」プロジェクトについて.....7ページ
- 観察会などのお知らせ（2020年11月～2021年1月）.....8ページ



役員会報告

(事務局: 島田洋)

【日 時】 2020年10月4日

【出席者】 13名

【主な話し合い項目】 (既に終了した案件については割愛したものがありません)

(1) コアジサシ営巣地について

- ① 東よか干潟に整備が進められている拠点施設の敷地内に砂利を敷き詰めて「コアジサシ営巣地」を設ける。 広さは400㎡。
- ② コアジサシのデコイやシェルターを置いて営巣の可能性を高めたい。
- ③ コアジサシやチドリ類などが営巣してくれるのを期待する。
- ④ 費用はサントリー愛鳥基金(100万円)と佐賀県の助成金(5万円)を充てる。

(2) 東よか干潟ビジターセンター「ひがさす」について

10月20日(火)に開館した。

入館は無料。 開館時間は午前9時～午後5時。 月曜日休館

売店でカササギバッジ・クロツラヘラサギバッジの販売を依頼している。

行事開催などに支部もかかわっていきたいと考えている。

(3) ブッポウソウの里について

- ① 佐賀市富士町下無津呂に「ブッポウソウの里」を作る予定で取り組みを始めている。
- ② 岡山県吉備町にはすでにブッポウソウの里があるので現地へ赴きお話を伺う。
- ③ 今後は住民や行政・九州電力などへの説明や協力依頼をして実現にもっていく。
- ④ 設置する巣箱は30～50個。巣箱製作や設置作業には支部会員の協力をお願いする。
- ⑤ 資金は佐賀 e 基金からの助成金を活用する。

(4) ドローンによる除草剤散布について

10月22日(木)に佐賀県知事と面談の予定。反対署名を提出する。

(5) 愛鳥モデル校指導について

唐津市加唐小中学校での指導は 11月17日(火) 巣箱づくり

12月17日(木) 観察会

伊万里市東山代小学校での指導は 11月13日(金) 野鳥学習会

12月11日(金) 観察会

(6) その他 今後の観察会等について協議した。





各地の観察会報告



■ツバメのねぐら観察会報告（佐賀市）

【日 時】 2020年9月13日

【参加者】会員9名、一般参加者7名（案内役：永島 博）

【案内役より】

大詫間公民館に集合し各々の車にて現地に到着しました。日没までは30分ほどあります。スズメやムクドリがねぐらへ入っていきます。アオサギ、ダイサギもねぐらへ向けて飛んでいきます。やがて主役の登場です。今回も天気が良いすぎて空高く舞っています。そして、大群が堤防を勢いよく横断していきます。葦原や川面にはたくさんのツバメ。ねぐらへ入ったかと思えばまた飛び出し私たちの前を横切っていきます。出たり入ったりの繰り返しです。辺りはかなり暗くなってきました。♪チンチロリン、草むらからはマツムシの声。空を見上げると木星が明るく輝いています。支部長のスコープを使って木星を観ます。木星独特の横縞が見えます。4つの衛星（ガリレオ衛星）のうち3つが横一列に並んでいるのも見えます。皆さん興味津々です。木星の左横、土星に合わせました。見えないと思っていた輪がはっきりと見えます。「麦わら帽子みたい！」という声が聞こえます。天頂には夏の大三角が見えます。私たちの騒がしさで寝付けないのかツバメたちは右に左にと葦原の上を飛び回っていましたが 日没とともにピタッと動きが止まりました。葦の茎にしっかりと掴まっているツバメの姿も双眼鏡でしっかり見えます。ツバメと星空！自然を満喫したとても有意義な観察会となりました。

■鏡山・ハチクマの渡り観察会報告（唐津市）

【日 時】 2020年9月20日

【参加者】会員22名 一般参加者6名（案内役）宮原 明幸

【観察された野鳥】

ハチクマ、トビ、チョウゲンボウ、チゴハヤブサ、キジバト、ツバメ、サンショウクイ、ヒヨドリ、イソヒヨドリ、ウグイス、エソビタキ、コサメビタキ、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ、カワラヒワ、ハシブトガラス（17種）

【案内役より】

今回の観察会は天候に恵まれ、ハチクマ221羽が低く・高く渡って行きました。チゴハヤブサも時折ハチクマを追って渡ってくれました。

■森林公園観察会報告 「初心者のためのバードウォッチング」（佐賀市）

【日 時】 2020年10月18日

【参加者】会員30名 一般参加者30名（案内役 島田洋・宮原明幸）

【観察された野鳥】

カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、カルガモ、ヒドリガモ、ミサゴ、ノスリ、
チョウゲンボウ、バン、キジバト、ドバト、カワセミ、キセキレイ、ハクセキレイ、
ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、カワラヒワ、
ムクドリ、スズメ、カササギ、ハシボソガラス、ハシブトガラス (27種)

【案内役から】

今回は、初心者観察会。そして森林公園との共催です。受付も二つにして対応しました。8時30分からの受付ですが、参加者が次々にやってきます。受付に行列ができるほどの盛会となりました。

宮原支部長や森林公園の橋本公園長のあいさつで観察会をスタート。子供さんたちも多く合計60名を超える大集団です。

まずはカラスの観察。ハシボソガラスとハシブトガラスの違いを確かめました。

枝から枝へと飛び回るシジュウカラを観察。動きの激しいシジュウカラを初心者の方が双眼鏡で確認するのはなかなかたいへんでした。

公園内の池にカワセミ発見！「カワセミ！初めて見た！」と感激してくれる人もいました。カワセミに感謝です。

嘉瀬川ではカモの観察。ミサゴも空を旋回し、観察会を賑わせてくれました。2時間あまりで観察会を終了し、森林公園の休憩所で「鳥合わせ」。27種が観察できました。

まだ10月で冬鳥の数も少数でしたが、初心者の方には観察会を楽しんでもらえたと思います。

野鳥の会への入会者が増えればありがたいと思います。

■東よか干潟観察会報告 (佐賀市)

【日時】 2020年10月4日

【参加者】 会員 29名 一般参加者 15名 (案内役 田中丸雅雄、加藤芳隆)

【観察された野鳥】

ハシビロガモ、アオサギ、ダイサギ、ヘラサギ、クロツラヘラサギ、ミヤコドリ、
シロチドリ、メダイチドリ、オオメダイチドリ、ムナグロ、ダイゼン、ヒメハマシ
ギ、トウネン、ハマシギ、コオバシギ、オバシギ、キリアイ、アカアシシギ、コア
オアシシギ、アオアシシギ、ソリハシシギ、オオソリハシシギ、ダイシャクシギ、
ホウロクシギ、チュウシャクシギ、ズグロカモメ、ミサゴ、ハヤブサ、ハクセキレ
イ (29種)

【案内役から】

新型コロナウイルスの影響で、3月以来久しぶりの東よか干潟での観察会です。44名もの多くの方が集まりました。シチメンソウも赤くなってきました。曇り空でしたが無風で観察日和です。

満潮時に干潟は水没し、鳥たちは中央道路や捨て石に避難です。数日前より観察さ

れているヒメハマシギの情報が入り、東へ移動する。
久々の観察会で長崎県、福岡県など県外からも多数参加されました。

【日 時】 2020年11月3日

【参加者】 会員21名 一般参加者9名 (案内役 田中丸雅雄、加藤芳隆)

【観察された野鳥】

ツクシガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、ハシビロガモ、オナガガモ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、ヘラサギ、クロツラヘラサギ、ミヤコドリ、ハジロコチドリ、シロチドリ、メダイチドリ、ダイゼン、タゲリ、トウネン、ハマシギ、コオバシギ、オバシギ、キリアイ、オオハシシギ、ツルシギ、アカアシシギ、コアアシシギ、アオアシシギ、オオソリハシシギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、ソリハシセイタカシギ、クロハラアジサシ、ユリカモメ、ズグロカモメ、セグロカモメ、ミサゴ、トビ、ハヤブサ、カササギ、キクイタダキ、ヒバリ、コシアカツバメ、ヒヨドリ、メジロ、ミソサザイ、ホシムクドリ、シロハラ、ジョウビタキ、ハクセキレイ、マヒワ、ミヤマホオジロ (52種)

【案内役から】

朝から快晴の好天です。開始早々ソリハシセイタカシギの情報が入る。
真っ赤に紅葉したシチメンソウを見ながら通路に降りると、水際を歩くソリハシセイタカシギ！
3月以来今秋初めてです。沖合のカモの群れの中にツクシガモを見つける。
予想外の珍鳥の出現で皆さん満足した様子でした。

また、よか公園と干潟駐車場との間にある松林にもたくさんの小鳥たちがいます。
上記の野鳥の中で（これは松林で観た鳥だな）と分けけてみてください。
ビジターセンター「ひがさす」開館後初の干潟観察会でしたので、観察会後はひがさすの見学に立ち寄られた方もたくさんいらしたようです。

■ ドローンによる除草剤散布が中止になりました！

〈経 過 と 御 礼〉

テレビ・新聞等でも報じられたように 植林地にドローンで除草剤を散布し、下草刈りの省力化を目指した佐賀県は10月27日の実証事業の検討会議で同事業を本年度で打ち切ると正式に決定しました。つまりドローンによる山林への除草剤散布を県は事実上断念したということです。

日本野鳥の会佐賀県支部は、今年1月31日に佐賀市富士町で開催された除草剤散布の説明会に参加しその概要を把握しました。

以後、役員会で自然保護の観点から実証実験に反対し中止を求める署名活動を展開する

ことを決定し、早速取り組みを始めました。

署名活動を進める傍ら、5月19日佐賀野鳥の会々長共々 佐賀市大和町の佐賀県林業試験場に出向き、実証実験に対する私どもの反対理由と署名活動の展開も伝え、即時中止を申し入れました。

しかし林業試験場の関係者等の態度は「除草剤の量を減らして（薄めて）でも散布に向けた実験を継続する」とかたくなで話し合いは物別れに終わりました。

このような経過をたどりつつ県への署名提出のメドを10月に置き、会員のみなさんには自然保護の立場から署名活動に一層尽力されるようお願いもしました。

この問題が発生した当初、「住民説明会」を開くよう取り組まれた林業女子会会長、日本野鳥の会佐賀県支部と連携して署名活動に取り組まれた佐賀野鳥の会会長共々10月22日に佐賀県庁を訪れ、2,312筆の署名を提出しました。（新聞各社、テレビ等の取材もありました）

このような経過をたどる中10月28日に新聞等でも報じられたように県はついに山林へのドローンによる除草剤散布を断念いたしました。

その理由について県は「風の影響を受けて目的地以外への飛散も多かった」などと体面を保った発表でしたが私は署名活動がテレビや新聞でも取り上げられたことや、新聞紙上での会員の意見表明（投稿）なども含め会員を中心とした取り組みが奏功し、県を断念に至らしめることができたと思います。

半年にわたる会員のみなさんの署名への取り組み等ご尽力に対し御礼申し上げます。ありがとうございました。

本来、私たち野鳥の会は「鳥を愛で自然を楽しむ」趣味の会です。

今回のような、異を唱え波風を立てることが今後起きないことを切に願うのですが・・・今ある自然環境を守るため、必要とあれば立ち上がることも止む無しかと！

最後にめったに目にすることのない「日本野鳥の会の目的」を掲載し、この間の活動へのご理解を深めていただきたいと思います。

令和2年 11月6日

日本野鳥の会佐賀県支部 支部長 宮原明幸

日本野鳥の会の目的

理念と自然保護の考え方に基づいた日本野鳥の会の基本的な目的は、人間と自然との一体的な共存を図ることである。

一体的共存へ向けて日本野鳥の会の具体的な目的は次のものである。

- (1) 野鳥を通して自然の素晴らしさに接し、自然のしくみや人間活動との関わりに興味関心を覚え、自然を守っていこうとする人を増やす。

- (2) 自然に親しみ保護する支援者の組織的な力を基に、野鳥や他の野生生物の生息する多様な生態系を守り、また、地域の自然の復元に積極的に関わり、自然と人間とのよりよい共存を実現する。
- (3) 野鳥の生態、野鳥と環境との関わり、野鳥と人間との関わり等を明らかにして自然保護、環境保全のための自然科学的また人文・社会・文化的資料を蓄積、活用し、また、その成果を人間と野鳥と自然とのよりよい関係を築き上げる思想形成に資する。

『ブッポウソウの里づくりプロジェクト』経過報告 (宮原明幸)

6月中頃、富士町下無津呂のMさんより「納屋に架けた巣箱に、緑色の綺麗な鳥が入ったので調べたらブッポウソウらしい？」と連絡がありました。

6月28日にMさん宅に出向き、確認しましたら間違いなくブッポウソウでした。巣箱はシジュウカラ用の小さいものでしたが屋根が壊れていて、そこから出入りしています。Mさんとは「来年はブッポウソウ用の大きな巣箱をかけなおしてあげましょう。」と約束し、おいとましました。

7月2日 ブッポウソウ営巣証拠写真を残すため橋本泰博さんに同行いただき撮影。

しかし、7月6日の大雨で、ブッポウソウは巣を放棄してしまいました。

7月16日、青柳副支部長から「e-さが基金」が環境保全団体に助成金を出すとの案内があり、24日の役員会で諮ったのち、7月29日「ブッポウソウの里づくり」で助成金を申請しました。

※当初はブッポウソウの巣箱を1~2箱、Mさん宅周辺に架ける予定でしたが、助成金が頂ければ下無津呂地区へ30~40箱を設置でき、岡山県吉備中央町のような「ブッポウソウの里」が目指せる！との皮算用です。

8月21日申請が通り、9月17日に40万円いただきました。

9月12・13日 岡山県吉備中央町へ出向き、野鳥の会岡山県支部の丸山支部長に案内していただき視察。

9月27日 富士町下無津呂で巣箱設置場所の候補地調査。

10月21日 佐賀市富士町支所で支所長及び下無津呂区長へプレゼンテーション。

※富士町支所の鶴支所長は大変前向きで「下無津呂だけでなく富士町の自治会全部に案内して欲しい」と話は大きくなりました。

(10月27日NTTへ電話線支柱への設置許可の依頼・支柱の使用は断られました。)

11月20日の区長会でプレゼンテーションを行う運びとなっています。

ブッポウソウの巣箱を設置するには、地元の方々のご理解と設置場所の無料借用が必須です。ブッポウソウの飛び交う姿が、夏の風物詩となる素敵な里づくりを目指して交渉していきます。

なお、設置に際しては、作業の手助けが必要です。会員の皆様のご協力をお願い致します。



探鳥会などのご案内

(2020年11月~2021年1月)

① 11月21日(土) ③ 12月6日(日)

巨勢川調整池探鳥会(佐賀市)

[集合] 9:00 金立縄文館前 駐車場

[担当] 21日 宮原明幸さん(佐賀市)
090-2507-7085

6日 島田洋さん(佐賀市)090-2393-1286

[見どころ]

調整池のたくさんのカモたちとカモを狙う猛禽類

② 11月29日(日)

白石調整池 探鳥会(杵島郡白石町)

[集合] 9:00

福富マイランド公園駐車場

[担当] 宮原明幸さん(佐賀市)

090-2507-7085

[見どころ]

越冬するカモたち。他に何が観られるかはお楽しみ!

④ 12月12日(土)

佐賀城公園(佐賀野鳥の会と共催)

[集合] 9:00

[場所]

佐賀城公園駐車場(城内2丁目3-18)

[担当] 宮原明幸さん(佐賀市)

090-2507-7085

[見どころ]

公園で冬を過ごす「小鳥たち」を観察します。

⑤ 12月16日(水)

東よか干潟 探鳥会(佐賀市)

[集合] 9:00 佐賀市東与賀町の

東よか干潟 展望台駐車場

[担当] 田中丸 雅雄さん(佐賀市)

080-1707-9225

[見どころ] 越冬のために訪れたカモ・カモメ類、クロツラヘラサギなど観察。

※潮の関係で土日の開催が難しいため平日(水)になりました。

⑥ 12月20日(日)

県立森林公園探鳥会(佐賀市)

[集合] 9:00 森林公園北側 駐車場

[担当] 島田洋さん(佐賀市) 090-2393-1286
(森林公園と共催)

[見どころ]

冬鳥たちがたくさんやってくることでしょう!
嘉瀬川ではカモたちが勢ぞろいしているカモ?

⑦ 1月2日(土)

朝日山 New Year 探鳥会(鳥栖市)

[集合] 9:00 朝日山公園入口駐車場

[担当] 橋本泰博さん(みやき町)

090-8833-6130

[見どころ]

今年もここから始まります! 一番の観察ポイントは
集合場所の駐車場周辺です。

⑧ 1月24日(日)

松浦河畔公園探鳥会(唐津市)

[集合] 9:00 同公園管理事務所前

[担当] 川原直嗣さん(唐津市)

090-8673-9152

[見どころ]

山野の鳥や葦原の鳥たち、河口付近 水門の内
外でのカモの種類の変化など。毎回 40~50 種の
鳥が観察されます。

⑨ 1月9日(土)~11日(月)成人の日 (2泊3日)

鹿児島県出水探鳥行

出水で越冬するツルや、その周辺地区の鳥を探
します。

[費用] 約3万円

[担当] 宮原明幸さん 090-2507-7085

詳細は参加申込者へ直接連絡します。

観察会のお問い合わせは、佐賀県支部 web サイト(ホームページ)の「お問い合わせ」よりメール、又は
佐賀県支部長携帯電話(090-2507-7085)へ連絡して下さい。